

研究主題



主体的に 学び合う 子どもの育成

—つながりを大切にした授業づくりをとおして—

はじめに

新学習指導要領が全面実施となってから3年目を迎えました。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け準備を進めてきましたが、コロナ禍により、多くの制限を受けながらの教育活動となりました。一方で、国が進めてきていたGIGAスクール構想に伴い、2021年には1人1台のタブレットが渡されることとなりました。人と人との距離、ソーシャルディスタンスが必要とされる中、タブレットを活用することで新しいコミュニケーションの世界が広がりました。単なる言葉のやりとりだけでなく、よりわかりやすく工夫した意見表出、多くのクラスメイトとの意見共有、そしてオンライン授業等、様々な可能性を秘めていることがわかりました。一方で、やはり、人と人が直接つながることの大切さを実感した3年間でもありました。

本校では、学校教育目標を「すべての子どもを幸せに～自尊感情を高め、自立してたくましく生きる児童の育成～」とし、研究テーマを「主体的に学び合う子どもの育成～つながりを大切にした授業をとおして～」と設定し、教科を絞らずに取り組んできました。「つながり」については4つのC、Cross（教科をつなぐ）、Connect（授業・子どもをつなぐ）、Creative thinking（思考を生み出すアプローチ）、Cooperate（教師同士のつながり）をとらえ、「つながり」を重視することにより子どもたちの主体性を育む取り組みを進めてきました。また、①池尻スタイル（基本的な授業の流れ）の実践、②朝の学習タイムを活用した基礎基本の定着、③スクールタクトを活用した授業実践の共有、の3つを共通実践事項として全職員で取り組んできました。我々の取り組みはまだまだ道半ばではありますが、本日、これまでの取り組みの一端を発表させていただきます。ご参加いただいた皆様方とリアルタイムで「つながり」、様々な角度からご意見をいただくことで、また明日からの教育活動に活かしていきたいと考えております。

最後になりましたが、本校の研究推進にご助言とご指導をいただきました大阪大谷大学教育学部 今宮 信吾教授をはじめ、ご支援をいただきました伊丹市教育長 木下 誠様、伊丹市教育委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

令和4年11月

伊丹市立池尻小学校 校長 林 隆浩



令和4年度 池尻小学校学校教育目標

すべての子どもを幸せに

～自尊感情を高め、自立してたくましく生きる児童の育成～

めざす学校像

夢があり感動があり子どもも教職員も生き生き輝く学校

- 1 一人ひとりが大切にされ、確かな学力がつく学校
- 2 明るくあいさつ、笑顔と思いやりの心にあふれた学校
- 3 たくましく生きるための健康や体力を育てる学校
- 4 保護者や地域に信頼され、総がかりで育む学校

めざす子ども像 考えて行動する子

- 1 主体的に追求し粘り強く頑張る子
- 2 明るく思いやりのある礼儀正しい子
- 3 健康と安全に気をつけ体力づくりに励む子

めざす教師像 愛情を持ち主体的に研鑽に励む教師

- 1 子どもがわかるまで、できるまで、あきらめず徹底して指導する情熱のある教師
- 2 子どもや保護者に、温かく誠実に寄り添うことのできる感性豊かで、魅力ある教師
- 3 PDCAで変革し最前線の教育実践をする教師

笑顔と思いやりをもち チャレンジしていこう

経営方針

- ・ 基礎的基本的な知識技能を習得させる。
- ・ 授業力の向上と授業改善をめざして校内研修会を実施する。
- ・ わかる授業をすることにより学習意欲を向上させ、達成感を味わわせる。
- ・ 読書活動を充実させ、自ら学び探求する心を育てる。
- ・ 個に応じた支援計画を立て、適切に実施する。
- ・ 問題行動に対する指導体制を充実させる
- ・ いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。
- ・ 児童の体力の向上を図る。
- ・ 食生活に関心を持ち、健康に生活しようとする児童を育成する。
- ・ 積極的に学校情報を発信する。

研究の足あと **研究主題** 主体的に 学び合う 子どもの育成

平成29年度～30年度 「国語科」

～対話的な学習をとおして、思考力・判断力・表現力を高める授業作り～

○友だちの考えを聞いたり、自分の考えを言葉で伝えたりする力がついてきた。

●集めた情報を応用して活用する力が身に付いていない。

→国語で身につけた力を他教科にも活かしたい。



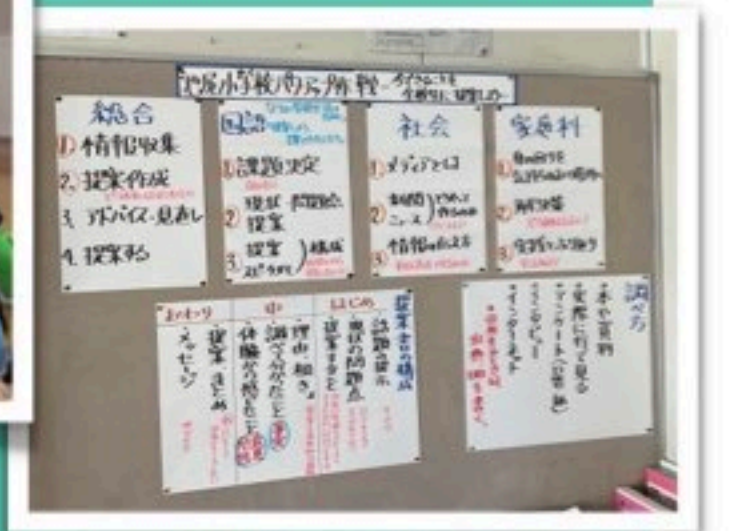
平成31年度～令和2年度 「全教科」

～教科横断的な単元づくりをとおして～

○教科と教科をつなぐことで、子どもたちが国語で身につけた力を活かす場面が増えた。

●教科横断型の授業をすることが目的になってしまった。

→テーマである子どもの姿をめざし、子どもの実態をつかみながら授業を進めたい。



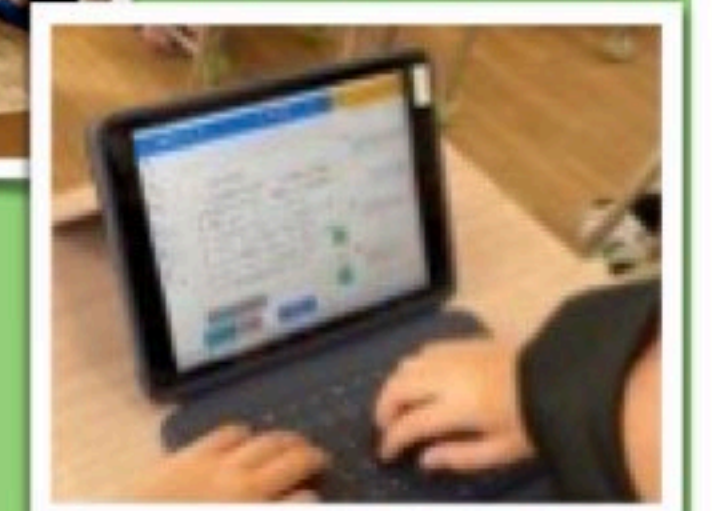
令和3年度～ 「全教科」

～つながりを大切にした授業づくりをとおして～

○クロスカリキュラム（教科横断型授業）で子どもの意欲や興味を引き出すことができた。

●考えを深める姿は弱い。まだまだ受け身な部分が多く日頃の学習場面での主体的な活動の場面は少ない。

→主体的な子どもの姿をめざし、つながりをキーワードに授業を進めている。



研究テーマ実現のために

Cross curriculum

教科をつなぐ



Connect

子ども・授業をつなぐ



ICT

企業・地域人材

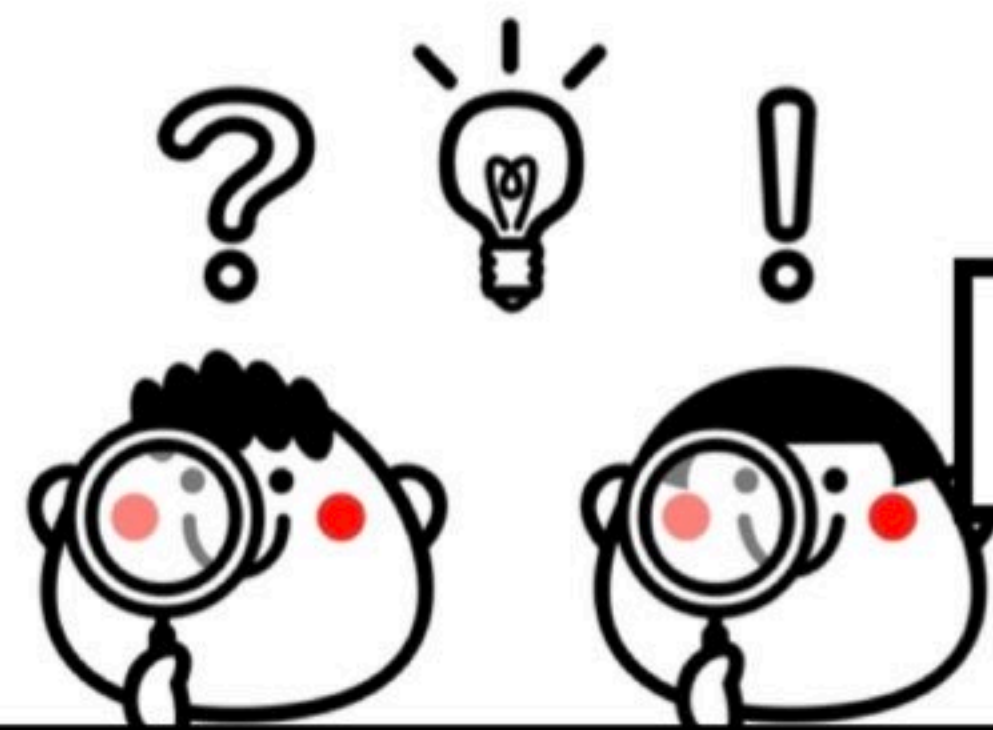
池尻研究4c

つながり



Creative thinking

思考・探究心をつなぐ



主体的に学び合う子ども

Cooperate

先生同士つながる



池尻スタイル＝基本的な授業の流れ

①めあての共有化

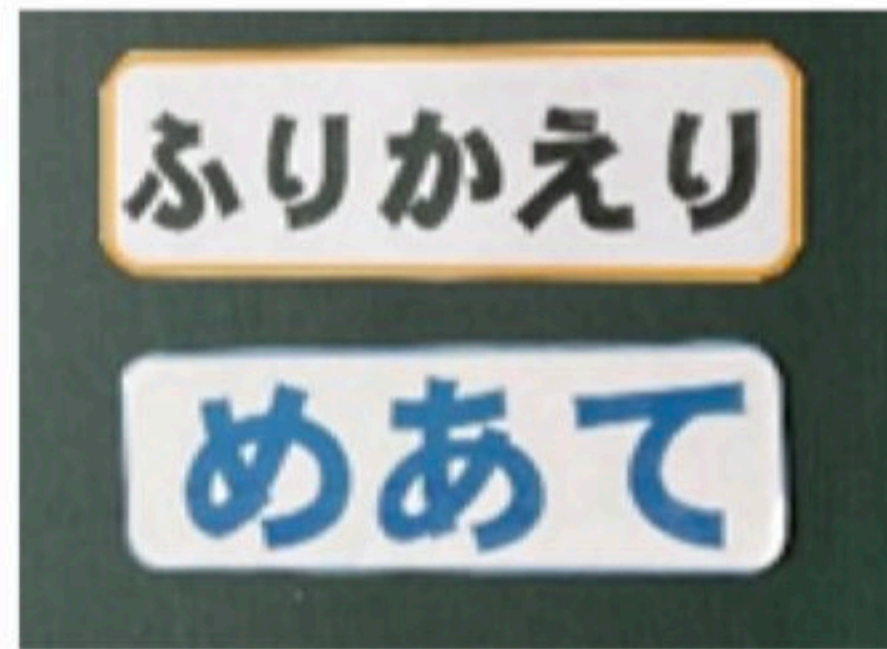
②自力解決

③対話的な学習

「自己との対話 ・ 他者との対話 ・ 教材との対話」

④学び（知識）の整理

⑤ふり返り



池尻小「わかったっ！」のふり返り

わ わかったこと

か かんがえたこと

っ つたえあったこと

た たいせつなこと

っ つぎにつなげること

! 学んだことをしっかりとふり返ろう！

今年度の研究

4月	研究全体会 池尻テラス
5月	スキルアップ講座 先生見合いっこタイム①
6月	IKETUBE「バトンパスの方法」配信
7月	研究授業5年理科「とかして発見！ Are you ready!？」 スキルアップ講座 夏季研修会・単元構想計画発表
8月	
9月	研究全体会 先生見合いっこタイム② 研究授業4年総合「未来への8カウント」
10月	研究全体会 研究授業2年生活「2の3おもちゃ王国をつくろう」
11月	研究発表会
12月	スキルアップ講座
1月	研究授業 特別支援学級（のびのび） 研究評価 先生見合いっこタイム③
2月	研究全体会



校内研究授業： 5年生



事前研：動画活用



校内研究授業： 4年生

4年1組 未来への8カウント	
<p>p (よかったところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを絞ったことが良かった。1人だったら1〜2個だったところを班で話し合うことで複数出せていた。 ・高学年になっても繋がっていくことなので4年生で取り組めて良かった。 ・子どもたちが主体的に活動していてすごいと思った。 	<p>m (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の後半、目標同士の繋がりがなくなってしまった。 ・前半の問題→目標と後半の目標同士を繋げるのは別の授業なのかなと思った。 ・話し合いではなく、意見の出し合いになっていった。 ・問題を解決するにあたって、良いこと同士の繋がりを考えている班と、問題問題で捉えている班があったので難しかった。
<p>l (おもしろかったところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標が枝分かれして繋がっていくということ、繋げながら17個の目標が子どもたちの中に入っていくのが視覚的にも面白いと思った。 	<p>つながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つ解決するといっている繋がっていくということを子どもたちが気づき、どの目標を1番大切にしていくなか話し合わせても良いのかなと思った。 ・17の目標が繋がっていると気づけた子がたくさんいた。

事後研：スクールタクト活用



校内研究授業： 2年生



自主研修：スキルアップ

研究の途中経過

- 学んだこととつなげて思考したり、表現したりする場面が増えた。
- つながりというキーワードが学習をクラス→学年→学校→地域→社会へと大きく広げる機会になった。
そのため、今年度は他学年との交流や企業の出前授業など積極的に行っている。
- めざすべきこどもの姿を大切にすることで、授業の工夫や手立てがより明確になってきた。
- コロナ禍で対話的な学習の経験が少なく、発信力が少し弱い。
- 情報収集力が身についてきたが活用はまだまだできていない部分がある。



研究専用ファイル

おわりに

社会は、ポストコロナを見据えた新しい生活・学習スタイルや、GIGAスクール構想による急速なICT化など、めまぐるしく変わってきています。そのような中、子どもたちが今後の社会を担い、より豊かに生きていけるよう育むことが学校の大きな役割となってきました。

本校では、学校教育目標「すべての子どもを幸せに」～自尊感情を高め、自立してたくましく生きる児童の育成～の具現化に向け教職員一丸となって子どもたちと日々向き合っています。そして「主体的に 学び合う 子どもの育成」を研究テーマに、つながりを大切にした学習をとおして、子どもたちの主体性を育む取り組みを進めてきました。

本校の子どもたちは、素直で前向きに努力はするものの、自分のことを表現する、根気強くやりきる、自ら進んで取り組むことに課題が見られます。4つのCを意識し、池尻スタイル（基本的な授業の流れ）や「見合いっこタイムによる教師間のつながり、出前授業など他機関や社会とのつながりを大切にした取り組みも実践してきました。このような取り組みを通して、話し合い・学び合う力や自ら主体的に学ぼうとする力が育ってきているように感じています。

しかし、まだまだ十分な研究とはいえず至らないところも多々あると思います。本校の研究についてみなさまの忌憚のないご意見をいただき、子どもたちの明日へ、将来へとつながるようさらに研究を深めていきたいと存じます。

最後になりましたが、本校の研究推進にあたり常に親身になって考え的確なご指導ご助言をいただきました大阪大谷大学教育学部の今宮信吾先生をはじめ、伊丹市教育委員会の皆様、この研究に携わってくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。

伊丹市立池尻小学校 教頭 若尾 英司



外部人材の活用



他学年との交流